

平成23年8月10日

中部経済産業局

## 「中部モデル」による小型家電リサイクルの促進

～先進事例セミナーの開催と「資源循環フォーラム(仮称)」の設置～

小型家電(携帯音楽プレーヤー、ゲーム機など)のリサイクルが課題となる中、中部地域の自治体の先進的な取組みが全国的な関心を集めています(先頃、[経済産業省から発表された「自治体における小型家電リサイクルの先進的取組事例」\(平成23年7月22日\)](#)では、全国の先進事例25件のうち18件が中部地域の事例)。

中部経済産業局では、今般、管内自治体の取組みを分析し、小型家電リサイクル「中部モデル」として集約しました。中部経済産業局では、今後、「中部モデル」導入による先進事例セミナーを開催するとともに、リサイクル企業、商社等からなる「資源循環フォーラム(仮称)」を設置し、「中部モデル」の本格的な普及を図ることとしています。

### 1. 現状

- ・ 中部経済産業局では、平成21年～23年にかけて、管内の自治体、研究機関、企業等と協力して小型家電リサイクルの成立条件を分析し、実証事業を行った上で、「中部モデル」として自治体等に紹介しています。
- ・ 「中部モデル」は、自治体が民間事業者と連携して、回収した一般廃棄物から小型家電等を抽出してリサイクルするもので、①従来の自治体の廃棄物処理業務の内容を大きく変えることなく、②新たなコストをかけずに(むしろコスト削減が可能な形で)、③使用済み小型家電を処理して有用金属等を抽出可能であることが確認されました。
- ・ 「中部モデル」は、既に東海地域8カ所(自治体・事務組合)で実証事業が行われ、その実効性が確認されており、さらに3カ所で実施準備が進められています。
- ・ 先行例(安城市)では、1ヶ月で約5.5トンの小型家電を回収・処理し、鉄2.5トン(自動車用シャーシ9台分相当)、パラジウム17g(自動車用触媒5台分相当)等のリサイクルが可能となっています。
- ・ こうした中、経済産業省本省が行った自治体における「小型家電の先進的取組事例」(平成23年7月発表)においては、先進事例全国25件のうち中部経済産業局エリアで18件と全体の73%と大勢を占めています。

## 2. 今後の対応 ～「資源循環フォーラム(仮称)」の設置等～

- ・ 小型家電リサイクルの幅広い実現のため、「中部モデル」の有効性を訴求しつつ、次の取り組みを行うこととしています。

### (1)自治体への普及促進

- ・ 県と連携して市町等を対象に先進事例発表等のセミナーを開催し、中部地域の未導入自治体への訴求を強化するとともに、自治体の状況に応じた「中部モデル」導入のアドバイスを実施。
- ・ 経済産業省本省による「小型家電の先進的取組事例」を通じた全国の自治体への訴求

### (2)連携リサイクル事業者の体制整備

- ・ 「資源循環フォーラム(仮称)」を設置(8月22日に準備会合を開催し、9月中に設立総会を予定)。
- ・ 同フォーラムでは、自治体と連携するリサイクル事業者の要件を明確化するため、①小型家電リサイクルに関する事業者の(業界)基準の策定、②自治体との間の標準手順書(標準契約約款)の策定、③連携事業推進に向けたセミナー等の開催を行うことを予定しています。

(お問い合わせ先)

中部経済産業局 資源エネルギー環境部環境・リサイクル課長 田島

担当:今野

電話:052-951-2768(直通)